

校長研修だより123

ドラゴン桜

2023・10・17 重枝 一郎

よく言われる話だと思うが、私が10代の頃はスマートフォンはない。LINEがないのはもちろん、携帯電話すらなかった。友だちとの連絡は家の固定電話か公衆電話で、ビデオ通話なんてSFの世界だった。SFの世界が普通に日常の世界というのはあらためて世の中の変化に驚く。

そんな世の中で生徒は、近い将来いくつもの岐路に立つ。高校受験、文理選択、進学か就職か、志望校はどこにするか、これまで同級生と横一列で進んできた大きな道が終わり、バラバラの道を歩み始める。生徒の中には、10代の知識や経験で将来を決断するなんて無理難題だと思う人もいる。社会の変化がある中で、親世代の願う将来設計に納得できない人も多いと思う。

世の中の変化といえば・・・

一昔前はみなさんご存じのように、日本は「ものづくり大国」と言われていた。でもそれも終焉を迎えている。その理由は、世の中に「ないもの」がなくなったからと言われている。衣食住は満たされ、便利なものも溢れている。十分すぎるほど豊かになった。みんなが欲しいモノはない。社会は高齢化なので、特に高齢者は現状に満足していて新しいモノを求めない。そういうスパイラルに突入しているといえる。

また、今は終身雇用制度も崩壊している。今は数字の上では、働く人より企業の方が短命である。今の企業の平均寿命は23年、一般的な人の勤続年数は40、50年なので約半分の命である。となると、親世代の価値観は通用しない。生徒たちにとっての大きなルールチェンジが始まっている。それは「自分で決める時代になった」ということである。「自分で決める経験」は、どの教師もこれまでも言っていた。ただ「本当に」「マジで」ということである。これからの生徒は、将来複数の会社を渡り歩くのが一般的になり、副業前提の働き方が一般的になってくる。教師である私たちにその感度が低くだけである。多様な働き方の中から、自分で自分の働き方を選ぶというルールが、冒頭の電話の話のようにすぐに定着すると思われる。

漫画「ドラゴン桜」をご存じか。2005年にシーズン1がテレビドラマ化され人気を集めていた（ちなみに本校図書室にもマンガが置いてある）。ちょっと言いにくい「〇〇と△△は東大に行け！」（ちょっと言えない）という過激な決め台詞で、元暴走族の弁護士 桜木が、勉強が得意でない生徒を東大合格に導くストーリーである。このストーリーの前提となっているのは「やりたいことが決まっていなければ、とりあえず東大に行った方がその後の人生が楽になるに決まっている」という考えである。ある意味、東大（＝良い大学）に入ることが正解という価値観である。

しかしあれから20年たって、今は本当にそうなのかという世の中になっている。この「ドラゴン桜」のシーズン2が2021年に再びテレビドラマ化された。このシーズン2では、桜木は何度も生徒たちに「お前が決める！」と伝えている。そして「東大はただのスタートラインだ」と語る。合格発表の後は「東大に行って目標を突き進むもよし、合格という自信で新たな夢を探すもよし」と生徒に告げる。東大＝正解ではなく、数ある選択肢のひとつというメッセージである。この桜木の真逆の生徒への対応からも、たった20年で世の中が大きく変わったと実感する。

人の価値観の変化といえば・・・

価値観の変化を端的に示す話で、市場での経済的価値の話がある。ざっくり言うと、今は便利で役に立つ「機能」を持った商品よりも、その人らしい毎日を送る上でなんらかの「意味」を与えてくれるモノの方が、高い価値になっている。例えば車の話で、以前は「人を乗せて遠くに行けるから欲しい」といった「役に立つモノ」から、「人と差がつくカッコいいのが欲しい」といった「イケてるモノ」に変わり、今は「自分はアウトドアが好きだからコレがいい」という「自分にとって意味があるモノ」という感じである。これまでの「便利」「快適」「オシャレ」「イケてる」というのは外から観察できる価値であった。外から観察できるというのはコピーできるということになる。だからそのうち価値は下がっていく。一方、その人の内からつくられた価値観は、その人にとっての「意味」ということになり外からの評価は関係ない。

これからの生徒たちは・・・

生徒がこれからの社会を生きていくためには、誰かから、あなたが「意味」を与えてくれると思われる存在でないとならないということになる。誰かにとって「意味」のある内面をともなった人でなければならない。それは学歴や資格ではなく、「この人と働きたい」と思われる「人の中身」が重視されていくということである。

「校長研修だより」アクセス数

学校 HP は、広報の森田さんがアップしてくれています。いつもありがとう！

その森田さんが、本年度より「校長研修だより」のアクセス数を月別にデータをとってくれています。ちょっとプレッシャーもありますが（笑）、継続してみようと二人で話しています。この結果が、多いのか少ないのかわかりませんが、いや、きっと少ないと思うけど、お知らせします。

先生方も宣伝よろしく！

| 2023 年度 HP 校長アクセス数 | | |
|--------------------|-----|-------|
| 4 月 | 494 | 30 日間 |
| 5 月 | 482 | 31 日間 |
| 6 月 | 550 | 30 日間 |
| 7 月 | 522 | 31 日間 |
| 8 月 | 379 | 31 日間 |
| 9 月 | 443 | 30 日間 |

「採点ナビ」継続してみては？

本年度、教務部が、試行的に「採点ナビ」デモ版を活用できるようにしています。実際利用した先生方は 10 数名と聞いています。入試業務でも活用できるようになるといいと思います。一昨年、ICT 環境を一気に進めたときには、金銭的問題を先生方、事務の先生方と協働し、今があります。これからのことを考えると、「採点ナビ」も全体的な協力で考えてもらえたらと思います。